

令和5年度福島原子力災害復興交付金事業状況報告書

(基金の運用実績)

(単位：円)

事業区分	基金の保有区分	令和5年度 当初保管額	運用益繰入額	令和5年度 支出済額	過年度充当分積 戻し額	令和5年度 年度末保管額
福島原子力災害復興 交付金事業	福島原子力災害 復興勘定	74,521,069,454	95,396,364	2,784,696,525	34,481,605	71,866,250,898
合計		74,521,069,454	95,396,364	2,784,696,525	34,481,605	71,866,250,898

※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること

※ 基金の保有区分は基金管理運営要領第3の2で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること。

※ 運用益繰入額は、当該年度に基金の運用によって生じた果実の金額を記載すること

※ 支出済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出をしたものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。

令和5年度福島原子力災害復興交付金事業状況報告書

(福島原子力災害復興交付金事業の結果)

事業名	事業 実施主体	事業経費 (千円)						目標	目標 達成度 ・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、 経費の使用方法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
避難地域 復興拠点 推進事業	避難地域 12市町 村	760,100	667,537	0	0	760,100	667,537	避難地域 12市町 村におけ る復興拠 点づくり を支援 ※交付要 綱第4条 第1項第 一号(2) ～(4) に該当	3町村(3事業) に対し交付 を行ったこ とで、 避難地域 の復興拠 点づくり を支援す ることが できた	【内容】 避難地域12市町村で計画され ている復興拠点づくりについて、 福島再生加速化交付金等の既存の 国庫補助制度等において対象とな らない事業を対象に交付金を交付 する。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金 667,537千円 【内訳】 ・楡葉町多機能防災拠点造成費 (560,000千円) ・富岡町夜の森つつみ公園造成費 (28,000千円) ・富岡町放課後児童クラブ施設造 成費(50,000千円) ・浪江町さけふ化・採捕施設用地 取得費(23,843千円) ・飯館村村民の森あいの沢用地取 得費(5,694千円)
復興まち づくり加 速支援事	県	39,442	35,992	0	0	39,442	35,992	避難解除 等区域に おける公	4市町村(4施 設)に対し、交 付を行ったこ	【内容】 避難解除等区域において、商業 施設を整備し運営する市町村に対

業								<p>設商業施設の運営を支援</p> <p>※交付要綱第4条第1項第4号及び第3項ただし書き福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当</p>	<p>とで、帰還した住民の買い物場の確保に寄与した。</p>	<p>し、運営に係る費用の一部を補助する。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 35,992千円</p>
ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業	県	52,034	39,963	0	0	52,034	39,963	<p>本県の復興をけん引する産業として重視している福祉施設へのロボットの導入</p> <p>※交付要綱第4条第1項第2号(3)医療及びエネルギー関連等</p>	<p>2施設に対し2台の導入補助を行うとともに、効果的かつ継続して使用するための助言等を実施した。</p>	<p>【内容】 介護職員の確保が厳しさを増していく中、介護職員の離職防止と定着促進を図るとともに、介護施設の人材不足を補うため、ICT等を活用した業務効率化など働きやすい職場環境づくりに取り組む。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 委託料ほか 39,963千円</p>

								に係る重点産業進出支援事業に該当		
避難農業者経営再開支援事業	県	109	89	0	0	109	89	<p>避難農業者の生活再建を支援</p> <p>※交付要綱第4条第1項第4号及び第3項ただし書き福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当</p>	<p>避難農業者が避難先や移住先で農業経営を再開するために必要な機械・施設等支援メニューを用意し、県内外の避難者に対してパンフレット送付等により広く周知し、避難先での生活再建をサポート。避難者から問い合わせは複数件あったものの、農地の選定や条件等合致せず申請には至らなかった。</p>	<p>【内容】</p> <p>避難農業者が原子力被災12市町村外（県外を含む）の移住先や避難先で営農を開始する際に必要な農業用機械、施設等の導入に必要な経費を補助し、生活再建を支援する。</p> <p>【完了時期】</p> <p>令和6年3月</p> <p>【経費】</p> <p>旅費、需用費、役務費ほか 89千円</p>
ふるさとふくしま帰還・生活再建支援事業	県	1,380	280	9,992	9,897	11,372	10,177	<p>避難者の帰還と恒久住宅への円滑な移行を支援</p> <p>※交付要綱第4条</p>	<p>対象3町村に対し、事業費補助を行ったことで、避難者の帰還に伴う経済的支援に結びつけた。</p>	<p>【内容】</p> <p>県内外の応急仮設住宅等から自宅等へ移転した際の費用を支援する市町村に対し事業費等を補助し、避難者の帰還を支援する。</p> <p>【完了時期】</p> <p>令和6年3月</p> <p>【経費】</p> <p>負担金、補助及び交付金 280千</p>

								第1項第四号及び第3項ただし書き福島県全域の復興並びに地域の自立を効果に進める事業に該当		円 ※ 基金充当費は、移転に伴う費用の補助にかかる経費(280千円)。 単独経費は、それ以外の経費(9,897千円)。
チャレンジ!子どもがふみだす体験活動応援事業(ふくしまキッズパワーアップ事業)	県	12,452	11,619	77,520	40,911	89,972	52,530	東日本大震災の経験を踏まえ、子どもたちが充実した自然体験学習等を行う機会をとおして、心身ともに健康で、豊かな人間性を育成するとともに、社会体験活動をとおして、主体的に復興に寄与する、たくましい子どもたちの育成を図る取組に支援※交	小・中学校164校の約9千人に対し、体験活動等を行う機会を提供した。	【内容】 取組を行う小学校及び中学校に対して、子どもの豊かな人間性や生き抜く力を育むための自然体験活動等にかかる、体験活動費、交通費、宿泊費等に対し定額の補助を行う。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 委託料ほか 11,619千円

								付要綱第4条第1項第三号(3)風評払拭に資するソフト事業に該当		
中小企業等復旧・復興支援事業	県	137,372	55,134	0	0	137,372	55,134	被災中小企業者の事業再開を支援し、地域の総合的な復旧・復興を図る。 ※交付要綱第4条第1項第四号及び第3項ただし書き福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当	当該事業において53件に対して支援を行ったことで、県内での事業再開・継続に貢献した。	【内容】 東日本大震災で被災した中小企業者が県内で事業を再開・継続するため、空き工場・空き店舗等を借り上げる際に必要となる賃借料などに対して補助する。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 55,134千円 【実績】 53件

震災関係 制度資金 推進事業	県	382,373	253,509	0	0	382,373	253,509	東日本大震災及び原子力災害により事業活動に影響を受けている中小企業者を支援 ※交付要綱第4条第1項第四号福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当	震災関係制度資金を利用する中小企業の負担軽減および資金繰り円滑化を図ることができた。	【内容】 震災関係制度資金にかかる県信用保証協会の保証料の引下げに対する補助及び代位弁済が発生した場合の損失補償を行う。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 253,509千円 (保証料補助) 215,722千円 補償金(損失補償) 37,787千円
再生可能エネルギー地産地消支援事業(住宅用太陽光発電設備等設置補助事業)	県	538,825	520,082	0	0	538,825	520,082	再生可能エネルギー設備導入の促進 ※交付要綱第4条第1項第二号(3)及び第3項ただし書き医療及びエネ	年度内に太陽光発電設備2,118件、蓄電池設備839件、V2Hシステム24件に補助金を交付した。	【内容】 一般家庭における再生可能エネルギー設備導入の支援を目的とし、住宅用太陽光発電設備等の設置にかかる初期投資費用の軽減を図るため、県内に所在する住宅に太陽光発電設備等を設置しようとする個人等に対し、設備導入経費の一部を補助する。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】

								ルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該当		負担金、補助及び交付金ほか 520,082 千円
チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業	県	484,324	441,390	10	13	484,334	441,403	<p>本県の復興をけん引する産業として重視しているロボット産業の集積</p> <p>※交付要綱第4条第1項第2号(3)医療及びエネルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該当</p>	<p>18件の研究開発テーマを採択するなど、343,080千円の補助金を交付した。</p>	<p>1 ロボット関連産業基盤強化事業</p> <p>【内容】 県内に本社、研究、生産拠点が所在する企業に対し、ロボットの要素技術開発や実証に係る経費を助成し、県内企業のロボット関連産業への参入を促進する。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 95,696 千円</p> <p>2 産学連携ロボット研究開発支援事業</p> <p>【内容】 産学連携による技術開発を促進するため、ふくしまロボット産業推進協議会と連動し、県内ロボット関連企業と共同研究を行う大学に対し、補助（定額）を行う。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 224,624 千円</p> <p>3 ロボットビジョン技術活用促進事業</p>

										<p>【内容】 ハイテクプラザ南相馬技術支援センターにおいて、福島ロボットテストフィールドの機能を活用し、インフラ点検用ロボットビジョンシステムの研究開発を行い、県内企業等への成果移転を図る。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 備品購入費ほか 14,941 千円</p> <p>4 ロボット部材研究開発事業</p> <p>【内容】 ハイテクプラザ南相馬技術支援センターにおいて、福島ロボットテストフィールドの機能を活用し、特殊形状のロボット部材の試作等を行い、入居企業や県内企業への技術提供を通じて金属加工業の競争力強化を図る。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 備品購入費ほか 4,513 千円</p> <p>5 メードインふくしまロボット導入支援事業</p> <p>【内容】 県産ロボットの導入補助によって、県内企業のロボット関連産業への参入意欲を高め、その産業集積を図る。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

										<p>委託費ほか 29,714 千円</p> <p>6 ロボットフェスタふくしま開催事業</p> <p>【内容】 最先端のロボットや県内で開発が進められる各種ロボットの展示・実演等を行い、県内企業の商談の場を提供するとともに、各種体験イベント等を通じ、若い世代を中心とした県民参加を図る「ロボットフェスタふくしま」を開催する。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 委託費ほか 32,824 千円</p> <p>7 ふくしまロボット産業推進協議会事業</p> <p>【内容】 産学官金連携の下、会員相互交流の活性化と技術基盤の強化に取り組み、ロボット関連産業の集積と取引の拡大を図る。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 委託費ほか 38,396 千円</p> <p>8 ロボット関連技術実証等支援事業</p> <p>【内容】 県内企業が福島ロボットテストフィールドを使用して行う実証実験等に要する経費について助成する。</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

										<p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 委託費ほか 682千円</p> <p>単独経費は、雇用保険料本人負担分(13千円)</p>
教育旅行復興事業(教育旅行誘致促進事業)(国際教育旅行等誘致促進事業)	県	235,902	180,916	0	0	235,902	180,916	<p>原子力災害の風評払拭による本県への教育旅行の人数増加</p> <p>※交付要綱第4条第1項第3号(2)教育旅行回復支援事業に該当</p>	<p>バス助成について、昨年度から70校減少し、1,290校となった。教育旅行キャラバン等の成果が着実にあり、新規校235校の実績があった。</p>	<p>1 教育旅行復興事業</p> <p>【内容】 学校行事の一環として福島県内で宿泊を伴う教育旅行を実施する県外の小中高等学校に対し、その移動に係るバス経費の一部補助を行う。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金ほか164,849千円</p> <p>【実績】 バス助成実績校 (新規来県235校、継続来県1,055校)</p> <p>2 教育旅行誘致促進事業</p> <p>【内容】 小中高等学校、旅行代理店等を対象とした誘致キャラバンを実施するとともに、本県で教育旅行を実施した学校への取材や県内教育旅行の入込調査を実施する。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 委託料ほか 12,328千円</p>

										<p>【実績】 訪問件数 206 件 (令和 5 年度) 入込調査結果 377,676 人泊 (令和 4 年度)</p> <p>3 国際教育旅行等誘致促進事業 【内容】 東アジア地域において福島県教育旅行セミナーを開催し、本県の正しい情報や教育旅行素材のPR等を行うとともに、教育旅行関係者を招へいして本県の現状を発信し、教育旅行実施につなげる。 【完了時期】 令和 6 年 3 月 【経費】 委託料ほか 3,739 千円 【実績】 教育旅行セミナー開催 2 回 フォローアップ訪問 16 校</p>
チャレンジふくしま戦略的情報発信事業	県	395,365	373,295	43,318	183,315	438,683	556,610	根強く残る風評の払拭と、時間の経過とともに加速する風化の防止 ※交付要綱第 4 条第 1 項第 3 号 (3)	本事業の実施により、多くの企業や団体、自治体等との連携促進が図られた。また、様々なコンテンツを活用した情報発信活動により、徐々にではあるが本県に対するイメージ回復	1 庁内連携強化事業 【内容】 本県の情報発信に関する庁内連携の強化、県クリエイティブディレクターの助言による統一感のある効果的な情報発信などを実施する。 【完了時期】 令和 6 年 3 月 【経費】 負担金、補助金及び交付金ほか 58,392 千円 (うち基金充当費 58,392 千円)

								<p>風評払拭に資するソフト事業に該当</p>	<p>が図られてきている。</p> <p>【参考】 福島県に対する良いイメージを持つ人の割合 H30 40.6% →R5 51.4% (震災前 43.8%) 出典:福島県情報発信分析事業</p>	<p>2 国内外への正確な情報発信事業</p> <p>【内容】 テレビ、新聞等を活用した県民に対する復興状況の発信、全国各地で開催する「チャレンジふくしまフォーラム」、大学生との共働による情報発信や県内市町村と連携した首都圏でのプロモーション活動、YouTube 動画及びSNSの活用による本県の現状と復興への取組、食と観光の魅力等の国内外への発信などを実施する。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 役務費ほか 313,221千円(うち基金充当費 269,903千円)</p> <p>3 “知るほどたのしい、ふくしま”企業連携プロジェクト</p> <p>【内容】 本県の現状や復興状況、更には世界に誇る魅力を、発進力の高い全国展開企業等とのタイアップにより、「知るほどたのしい、ふくしま」のコンセプトで様々な連携プロジェクトを展開する。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 委託料ほか 45,000千円(うち基金充当費 45,000千円)</p> <p>4 「ふくしまの今と魅力」発信強</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------------	---	--

										<p>化事業</p> <p>【内容】 関東地方のテレビキー局におけるCM放映及び近年利用者が急増している動画プラットフォームにおける動画広告の配信により、改めて福島県の復興の現状や魅力等を発信する。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 委託料 139,997千円（基金充当なし）</p>
水素ステーション整備拡大事業	県	150,000	135,787	0	0	150,000	135,787	水素利用の推進 ※交付要綱第4条第1項第2号(3)及び第3項ただし書き 医療及びエネルギー関連に係る重点産業の進出支援事業に該当	水素ステーションの整備1件に対して支援を行った。	<p>【内容】 県内において水素の利用を拡大し、水素社会の実現、水素関連産業の市場拡大につなげるため、県内で水素ステーションの整備等を行う企業に対し、整備等に係る費用の一部を補助する。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金 135,787千円</p>
燃料電池自動車導入促進事	県	15,000	9,140	0	0	15,000	9,140	水素利用の推進 ※交付要	燃料電池自動車の導入17件に対して支援	<p>【内容】 県内において水素の利用を拡大し、水素社会の実現、水素関連産</p>

業								網第4条第1項第2号(3)及び第3項ただし書き 医療及びエネルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該当	を行った。	業の市場拡大につなげるため、県内で燃料電池自動車を導入する県民や企業に対し、導入に係る費用の一部を補助する。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金 9,140千円
水素利活用スタートアップ支援事業	県	8,667	8,667	0	0	8,667	8,667	水素利用の推進 ※交付要綱第4条第1項第2号(3)及び第3項ただし書き 医療及びエネルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該当	新たな水素モビリティの導入14件に対して支援を行った。	【内容】 県内において水素の利用を拡大し、水素社会の実現、水素関連産業の市場拡大につなげるため、県内で新たな水素モビリティ等の導入を行う県内企業に対し、導入に係る費用の一部を補助する。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金 8,667千円
風評・風化対策強化事業(東京都心まるごと)	県	17,870	16,906	46,110	44,444	63,980	61,350	処分による新たな風評が生じることがないよ	県外に向けた福島の正確な情報や魅力の発信により、本県に対するイ	1 東京都心まるごとふくしまウィーク事業 【内容】 大消費地(首都圏)において2週間程度の「ふくしまウィーク」を設

<p>とふくしまウィーク事業) (風評・風化対策に関する情報発信分析事業)(風評・風化対策プロジェクトチーム)</p>								<p>う、各部署の連携を強化し、相乗効果を創出できるような取組などを企画・調整し、県外に向けた福島の正確な情報や魅力の発信などに戦略的かつ効果的に取り組み、風評・風化対策の一層の強化を図る。 ※交付要綱第4条第1項第三号(3)風評払拭に資するソフト事業に該当</p>	<p>メッセージ回復が図られてきている。</p>	<p>定し、各部署の風評・風化対策の取組を集中的かつ複合的に実施することで、ふくしまの正確な情報や地域の魅力等を協力的かつ効果的に発信する。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 需用費ほか 2,894千円 ※ 基金充当費は、各部署連携の下、ふくしまの県産品等の正しい情報や生産者の取組等を効果的に発信するため、首都圏で一定期間行う、シンポジウムやマルシェイベント等の調整に係る経費(2,894千円)。 単独経費は、イベントの企画・実施等に係る経費(44,444千円)。</p> <p>2 風評・風化対策に関する情報発信分析事業 【内容】 福島県の風評・風化対策の効果を高めるため、県等が行う風評・風化対策に関する情報を多面的に分析するとともに、効果の検証を実施し、それらの結果を踏まえ改善策を提案する。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 委託料 5,545千円</p> <p>3 風評・風化対策プロジェクトチーム 【内容】</p>
---	--	--	--	--	--	--	--	---	--------------------------	--

										<p>風評払拭や風化防止に向けた各 部局の取組の横断的な連携・調整 や県内において実施する風評・風 化対策の調整を行う。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 需用費ほか 8,467千円</p>
ネット・ ゼロ・エ ネルギー ハウス推 進事業	県	14,764	4,609	10,000	10,000	24,764	14,609	再生可能 エネルギーの地産 地消の推 進 ※交付要 綱第4条 第1項第 二号(3) 及び第3 項ただし 書き 医療及び エネルギー 関連等 に係る重 点産業の 進出支援 事業に該 当	当該事業にお いて、8件の補 助を行い、太陽 光発電設備を 導入し、再エネ の地産地消を 行うことがで きるネット・ゼ ロ・エネルギ ー・ハウスの導 入及び普及に 寄与した。	<p>【内容】 県内の再生可能エネルギーの地産 地消による利用を拡大し、脱炭素 社会の実現、エネルギー関連産業 の市場拡大につなげるため、一般 家庭へのネット・ゼロ・エネルギ ー・ハウス（以下、「ZEH」という。） の導入支援を目的とし、県内に ZEH を新築する個人に対し、高断熱外 皮や LED 照明などの省エネ設備の 購入や工事に要する経費の一部を 補助した。</p> <p>【完了時期】 令和6年3月</p> <p>【経費】 負担金、補助及び交付金 4,609 千 円</p>
福島県電 気自動車 導入推進 事業	県	24,275	24,275	39,275	23,907	63,550	48,182	再生可能 エネルギーの地産 地消の推 進 ※交付要 綱第4条 第1項第	当該事業にお いて、137件の 補助を行い、電 気自動車の導 普及拡大につ ながるととも に、エネルギー 関連産業の市	<p>【内容】 県内の再生可能エネルギーの地産 地消による利用を拡大し、脱炭素 社会の実現、エネルギー関連産業 の市場拡大につなげるため、県内 における電気自動車の導入にかか る負担の軽減を図った。</p> <p>【完了時期】</p>

								二号(3)及び第3項ただし書き医療及びエネルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該当	場拡大に寄与した。	令和6年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金 24,275千円
戦略的復興関連情報発信事業(復興ポータルサイト保守点検・運営事業)	県	5,969	5,507	0	0	5,969	5,507	国内外での風評払拭のための、正確かつ迅速な情報発信 ※交付要綱第4条第1項第3号(3)風評払拭に資するソフト事業に該当	閲覧者の利便性を高めるための修正を行うとともに、タイムリーな情報発信を行った。 閲覧数 (日本語ページ) R4:1,459,139 R5:1,084,272 (復興のあゆみページ) R4:14,471 R5:15,581 (外国語ページ) R4:41,090 R5:53,183	【内容】 国内外での風評を払拭するため、復興情報発信資料「ふくしま復興のあゆみ」など、ポータルサイトにて本県の復興状況の発信を行った。 【完了時期】 令和6年3月 【経費】 委託料 5,507千円 (保守点検・維持管理等)
(計)		3,276,223	2,784,697	226,225	312,487	3,502,448	3,097,184			